

令和7年3月県立高等学校卒業予定者の就職内定状況について

1 令和7年3月県立高等学校(全日制・定時制課程)卒業予定者の就職内定状況【1月末現在】

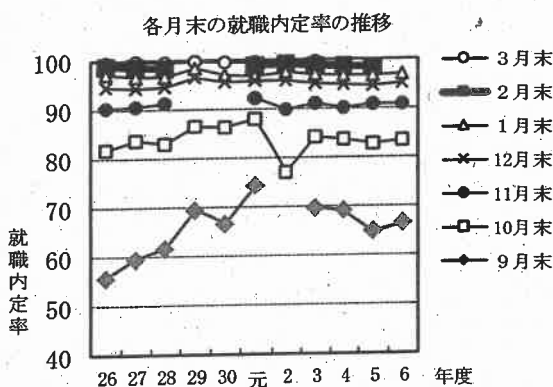
(県立高等学校 全日制・定時制課程)

(令和7年1月31日現在)

学科名	卒業予定者数	就職希望者数			就職内定者数			就職未決定者(A-B)	令和6年度1月末内定率	令和5年度1月末内定率	令和4年度1月末内定率	令和3年度1月末内定率
		県内	県外	合計A	県内	県外	合計B					
全日制	7,335	1,172	251	1,423	1,142	247	1,389	34	97.6%	97.3%	97.5%	97.5%
定時制	63	23	1	24	12	1	13	11	54.2%	70.0%	51.9%	60.6%
男子	3,788	746	192	938	724	190	914	24	97.4%	97.0%	97.0%	97.1%
女子	3,610	449	60	509	430	58	488	21	95.9%	96.1%	96.3%	96.2%
合計	7,398	1,195	252	1,447	1,154	248	1,402	45	96.9%	96.7%	96.7%	96.8%
昨年度	(7,231)	(1,152)	(273)	(1,425)	(1,113)	(265)	(1,378)	(47)				+0.2

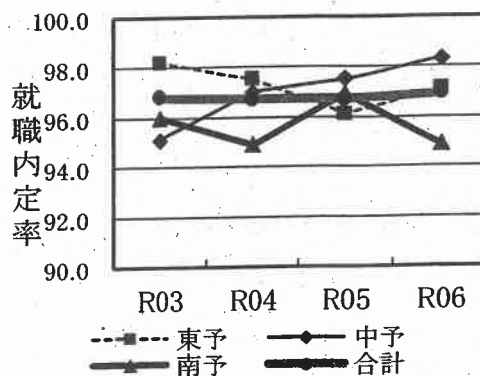
2 県立高等学校(全日制・定時制課程)卒業予定者の就職内定率の推移

年度	就職内定率(%)						
	3月末	2月末	1月末	12月末	11月末	10月末	9月末
6			96.9	94.9	90.7	83.4	66.5
5	98.9	98.3	96.7	94.6	90.8	82.7	64.8
4	99.0	98.6	96.7	94.7	89.9	83.6	69.1
3	99.6	98.6	96.8	95.1	91.0	84.1	69.6
2	99.5	99.1	97.4	95.7	89.7	77.0	
元	99.6	98.8	96.7	95.8	92.2	87.8	74.3
30	99.5		96.8	95.4		86.2	66.6
29	99.8		98.3	96.5		86.4	69.4
28	99.4	98.3	96.7	94.5	91.1	83.0	61.6
27	99.8	98.5	96.6	94.2	90.5	83.5	59.5
26	99.5	98.8	97.1	94.5	90.2	81.6	55.7



3 県立高等学校(全日制・定時制課程)地域別就職内定率の推移【各年度1月末現在】

年度	就職内定率			
	R03	R04	R05	R06
東予	98.2	97.5	96.1	(+1.0) 97.1
中予	95.1	97.0	97.5	(+0.8) 98.3
南予	96.0	94.9	96.9	(-2.0) 94.9
合計	96.8	96.7	96.7	(+0.2) 96.9
	1,642	1,508	1,378	1,402

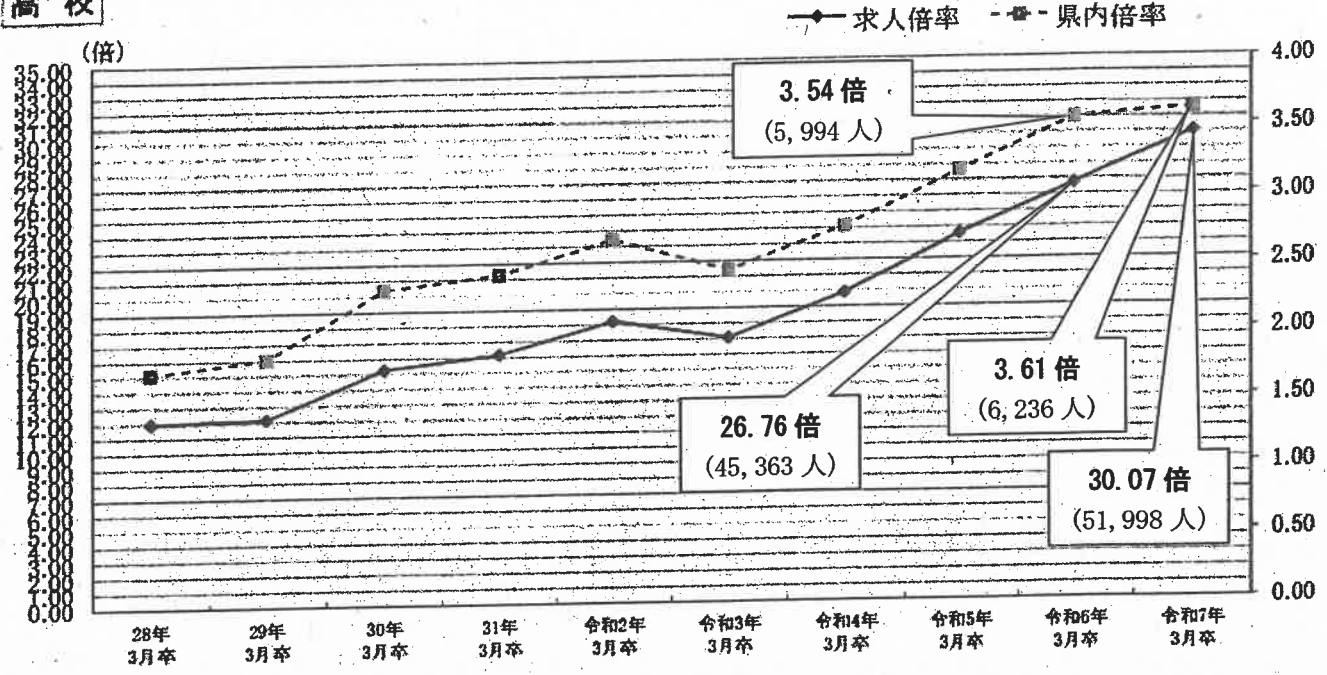


注 東予：四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、越智郡
 中予：松山市、東温市、伊予市、伊予郡、上浮穴郡
 南予：大洲市、喜多郡、八幡浜市、西宇和郡、西予市、宇和島市、北宇和郡、南宇和郡

4 年度別求人倍率の推移（愛媛県）【各年度12月末現在】

<愛媛労働局調査>

高校



	28年3月卒	29年3月卒	30年3月卒	31年3月卒	2年3月卒	3年3月卒	4年3月卒	5年3月卒	6年3月卒	7年3月卒
全求人倍率	11.98	12.16	15.26	16.15	18.19	17.06	19.88	23.60	26.76	30.07
県内求人倍率	1.73	1.83	2.33	2.43	2.68	2.45	2.76	3.16	3.54	3.61

注1 「全求人倍率」は、県下8公共職業安定所で受理した求人及び各学校で受け付けた県外求人を合算した求人数に対する倍率

2 「県内求人倍率」は、県下8公共職業安定所が県内企業等から受理した求人数に対する倍率

5 県内求人数（県下8公共職業安定所が県内企業等から受理した求人数）及び県内求人倍率の推移 <愛媛労働局調査>

地域	項目	卒業年次	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
合計	求人数	6	6,069	6,132	6,174	6,236			
		5	5,778	5,860	5,914	5,994	6,020	6,024	6,030
	求人倍率	6	3.52	3.57	3.56	3.61			
		5	3.31	3.41	3.43	3.54	3.65	3.65	3.65
差 (06-05)			+0.21	+0.16	+0.13	+0.07			

令和6年度 県及び県教育委員会における高校生の就職支援策

1 愛媛県高等学校就職問題検討会議

令和6年5月24日(金)新規高等学校卒業者の就職機会を確保するとともに、愛媛県の状況等を踏まえた就職支援・職業紹介が円滑に推進されるよう、下記の関係機関における連携体制を確立し、必要な事項の検討・協議等を行うこととしている。

【関係機関】 愛媛労働局 愛媛県商工会議所連合会 愛媛県進路指導研究会ほか教育関係団体
愛媛県 愛媛県教育委員会

【主な協議題】

- 令和6年3月高等学校卒業者の状況
- 新規高等学校卒業者の支援策等
- 就職慣行に関する申合せ
- 県内就職希望に対応した求人確保対策
- 早期離職防止のための方策 等について

【県内就職希望者に対応した求人確保対策についての申合せ事項】

(1) 県内求人の確保

- 就職活動支援員を活用した求人開拓
- 校長、労働局等幹部自らが事業所等を訪問しての求人開拓
- 経済団体に対する求人要請、並びに県内企業事業主への求人要請文の送付

(2) 生徒の社会的・職業的自立に向けた実践力を育成するための支援

- 企業関係者及び保護者等を含む就職対策委員会の設置
- 雇用のミスマッチを解消するため、応募前職場見学会やハローワーク主催の1、2年生を対象とした「地元企業の高校説明会」の開催
- 職場でのコミュニケーション能力を高めるためのビジネスマナー講座の開催

(3) 関係機関と連携した就職未内定者に対する支援

- 新卒者等人材確保推進本部において関係機関の連携による総力を挙げた就職支援
- 保護者宛て啓発文の送付

2 愛媛労働局新卒者等人材確保推進本部会議への参画

【構成機関】 経済団体関係者、労働組合、大学等関係者、高校関係者（愛媛県高等学校長協会就職対策専門委員長、愛媛県私立中学高等学校連合会会長）、行政関係者（労働局・ハローワーク、経済労働部管理局长、高校教育課長、私学文書課長）

【実施内容】 ○ 令和6年3月新規学校卒業者の就職状況
○ 令和7年3月新規学校卒業予定者等の就職支援策
○ 事業主団体等への支援事業の周知・啓発 等

【本部会議】 第1回 5月16日(木)

第2回 12月2日(月)

3 事業主宛ての求人要請

- 令和6年6月に、知事、教育長、愛媛労働局長連名による求人要請を、県内の従業員5人以上の事業所（県内約10,000社）に対し送付した。

4 就職活動支援員（県立）の配置

- (1) 趣 旨 現在の高校生を取り巻く厳しい就職状況から、高校生の就職を支援するため、企業等での豊富な経験を有する人材を、就職希望の多い高校に就職支援アドバイザーとして配置し、企業開拓や就職相談等きめ細かい就職支援を行う。
- (2) 配置校 県立18校

5 ジョブカフェ愛work（県若年者就職支援センター）と連携した就職支援

平成16年7月16日、若年者向け就職支援施設「ジョブカフェ愛work（県若年者就職支援センター）」を松山市湊町三丁目の商業ビル「GET!」内に設置。令和2年9月23日、湊町四丁目に移転。

高等学校と連携し、高校生を対象に就職相談、職業適性診断等を行うとともに、合同就職面接会を実施するなど、就業意識の形成や職業情報の提供を行っている。

- (1) 生徒向け出前講座 高校26校 参加生徒1,165人（R5年度実績）
県内の高等学校に講師を派遣し、生徒対象のキャリア教育セミナーを開催
- (2) 生徒向け県内企業紹介冊子の配布
県が構築した「スゴ技データベース」に掲載されている企業を紹介したデジタル版『未来がキラリ☆スゴ技BOOK』を活用した地域企業の理解促進

6 キャリア教育の取組

(1) 高校生キャリアプランニング推進事業

ア 目的

本事業では、インターンシップや人材育成講座を通して、将来、地域で活躍する姿を生徒自身に描かせることで、生徒一人一人の進学・就職に向けた主体的なキャリアプランニングを推進する。また、「キャリア・パスポート」の活用を充実させ、自己実現に向けたPDCAサイクルを確立し、主体的に自己の将来を見通したキャリアプランを設計する生徒を育成する。さらに、新規卒業就職者に対して、卒業後のフォローを行うことで離職率の低減を図る。

イ 実施対象 県立高等学校、県立中等教育学校

ウ 実施内容

(ア) キャリアプランニングの推進(全ての学校)

キャリアプランニング推進委員会の設置、インターンシップ(アカデミック・インターンシップ)、人材育成講座

(イ) 新規卒業就職者へのフォローアップ(就職者のいる全ての学校)

職業状況確認アンケートの実施及び教職員による就職先訪問、就業状況調査

(2) えひめ未来マイスター育成事業

ア 目的

全ての職業学科において、地域や産業界と連携した実践的な取組を通して、各専門分野の卓越した技術・技能を身に付けるとともに、県内企業への理解を深める取組を通して、将来、地域産業を支える専門的職業人を育成する。また、デジタル化対応装置の活用等により実社会で通用する最先端技術を習得し、Society5.0社会に対応できる人材を育成する。

イ 実施対象 県内の職業学科・総合学科を設置する県立学校のうち31校

ウ 実施内容

(ア) 農業科

GAP認証取得審査、GAP認証取得に向けた実践力向上についての講演、関連企業等の体験研修、農業用ドローン等の最先端技術を活用した実習によるスマート農業に対応した人材の育成等

(イ) 工業科

企業技術者等による「匠の技教室」や講演、デジタル制御のマシニングセンタや3Dプリンタを利用した最先端技術の習得、デュアルシステム、企業と工業高校生によるマッチングフェア、関連企業等の体験研修等

(ロ) 商業科

高度資格試験合格プログラム、税理士等による講演や講義、地域の魅力を伝えるツアープランの作成、タブレット等を利用して撮影した動画のQRコード付き観光ポスターの作成、地域資源を活用した商品の開発と販売等

(ハ) 水産科

漁家及び水産食品会社等による講演や実技指導、ICTを活用した養殖生産管理技術の習得、地域水産物を活用した6次産業化の取組、関連企業等の体験研修等

(ニ) 家庭科

衣・食・住の技術指導者による講演や実技指導、家族構成に応じたレシピを提案するアプリやデジタル機能付き調理実習台を活用した最先端技術の習得、特産品や伝統工芸品を活用して地域・産業界と連携した商品開発、関連企業等の体験研修等

(ホ) 福祉科

地域の福祉施設等の関係者による講演や実技指導、介護ロボットや見守りセンサー等の最先端福祉機器を用いた高度な介護技術の習得、関連企業等の体験研修等

(3) ソーシャルチャレンジ for High School 事業

ア 目的 高校生が、地域社会と連携しながら地域課題の解決を図る体験的な活動を実践するとともに、愛媛で働く魅力の発信、多世代交流等の様々な活動を行うことにより、地域に愛着を持ち、地域社会で主体的に活躍できる人材を育成することを目的に実施するものです。

イ 実施対象 県立高等学校、中等教育学校 55校

ウ 実施内容

地域の課題解決プロジェクトの活動を通して、地域社会で主体的に活動できる人材を育成したり、愛媛で暮らすことや働くことの意義を再発見させたりする。

○イベントの企画・運営、宣伝・広告、商品の開発など、地域の課題解決に向けた研究活動

○高校生による地域の魅力再発見・PR動画の作成